

2019 → 2025

西会津町総合計画 まちづくりの方向性

健やかな人とともに育むまちづくり



地域ぐるみで子育てに取り組み、安心して子どもを産み育てられる環境の創出を追求するとともに、子ども達に新しい学びを通して、未来を生き抜く力を育成していきます。町民みんなが生涯を通して学び続け、日常生活のなかでスポーツや芸術文化に親しむ機会を持ち、健やかな心と体を育む町を目指します。

温故創新 地産地笑のまちづくり



先人が紡ぎ守ってきた歴史や伝統、技、生活の営み、豊かな自然など「ココニアルモノ」を大切にしながら、新たな考え方や手法を融合させ「フルクテ アタラシイ」価値を創出していきます。こうして生まれた新しい価値や技術を、農林業や商工業、観光などに積極的に取り入れながら、地場産業の振興と後継者育成、起業家育成を進め、ヒト・モノ・カネがうまく循環する、活気に満ちた笑顔の絶えない町を目指します。

いきいき健康こころつながるまちづくり



町民みんなが自分の健康は自分で守る意識のもと、町民と行政が一体となって健康づくりを実践することにより健康寿命を延伸し、心身ともに健やかに安心して暮らせるまちづくりを進めます。地域の支え合いのなかで、一人ひとりが、その人らしく生きがいを持って充実した生活を送ることができる、老いて幸せな町を目指します。

誰もがこちよく暮らせるまちづくり



町民が一体となって雪を克服し、自然と共生しながら、災害に強い安全なまちづくりを進めます。ICTの活用や交通体系などの整備により、生涯にわたり快適で便利な暮らしができる「ずっと住みたい町」を目指します。



町の計画
はこちらから

令和元年度からスタートした新しいまちづくりの指針西会津町総合計画(第4次)。これは、西会津町のまちづくりの最も基本となる最上位計画に位置づけられます。町が目指す7年後の将来像を掲げ、長期的なまちづくりの方向性を明らかにし、この総合計画に基づいてまちづくりを行っていきます。

こうなったらいいな！西会津

町の将来像

笑顔つながり、夢ふくらむまち

～ ずっと、西会津 ～

町民が健康で安全安心に暮らし(=笑顔)、家族や地域の支え合いのなかで、

将来を担う子ども達がのびのびと成長する(=つながり)町になっています。

町民一人ひとりが夢や希望を持ち、その実現に向けて挑戦し、地域の資源を活かしながら、

新たな価値をみんなで創造する活気ある(=夢ふくらむ)町を目指します。

先人が築いてきた歴史文化を誇りに思い、豊かな自然を大切にしながら、

「ずっと、ここに住みたい」と思えるまちを次の世代に引き継いでいきます(=ずっと、西会津)。

町長あいさつ

西会津町は福島県の西北部に位置し、古くから会津の西の玄関口と言われ、越後街道の宿場町として栄えてきました。町の中央を阿賀川が流れ、万年雪を頂く飯豊連峰が望めるなど、四季を彩る豊かな自然環境のほか、大山祇神社や鳥追観音如法寺、縄文遺跡などの先史遺跡があり、「会津の豊地」信仰の里としても古い歴史があります。

このような特色を持つ本町では、令和元年度に西会津町総合計画(第4次)を策定し、町の将来像「笑顔つながり 夢ふくらむまち ずっと、西会津」の実現に向け、4つのまちづくりの方向性を軸とした各種施策を積極的に展開しています。人口減少、少子高齢化社会に加え、最近では新型コロナウイルス感染症の世界的流行など、本町を取り巻く状況は厳しさを増す中、

令和3年3月には西会津町デジタル戦略を策定し、日々進化するデジタル技術を有効に活用して、地域課題の解決や行政サービスの向上、移住定住の促進など、あらゆる分野でデジタル変革に取り組み、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

本要覧は、受け継がれてきた歴史や文化、豊かな自然と、新たな価値を融合しこれからの西会津を築いていく姿をまとめたものです。皆様に西会津町をより深くご理解いただくとともに、更なる町政発展にお力添えいただければ幸いです。



西会津町長 薄 友喜